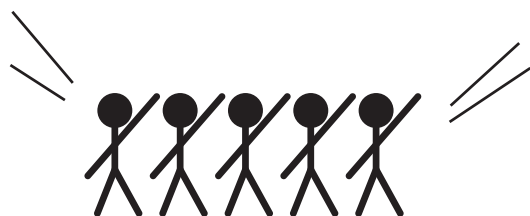


地域の課題解決を目指すプロジェクトを選んで寄附で応援する。



割り勘で 夢をかなえよう!



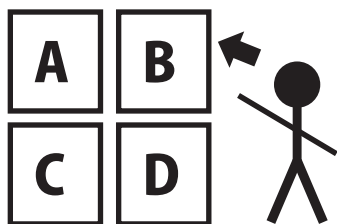
事業指定寄附カタログ 02

(第2期事業指定寄附プログラム)

2013年4月21日～6月30日

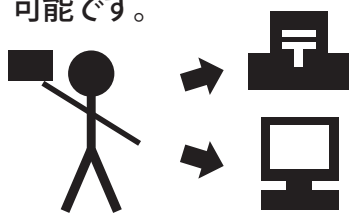
1

このカタログの中から、
応援したい取り組みを
選んでください。



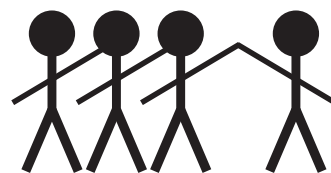
2

同封の郵便振替用紙で
ゆうちょ銀行にて寄附
をお願いします。
インターネットからも
可能です。



3

目標額に達するまで賛同
者が集まったら取り組み
を実行します。実施後は
成果を報告します。



一般財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share foundation

1. 地域をみんなで守ろう！ 「橋守」サポーター養成モデル事業

目標額 480,000 円

特定非営利活動法人 TEC.ECO 再生機構

<http://ww32.tiki.ne.jp/~tec-eco/>



毎朝の通勤・通学など日常生活の中で橋を通っている方は多いと思います。しかし、橋を利用するときに、橋の安全性について意識することはないと思います。

高度経済成長期に何万という数の橋が建設されており、2010年から2025年にかけて建設から50年以上迎える橋が急増します。橋はきちんとメンテナンスを行えば、長い間使用することができますが、メンテナンスが行えていないと崩落の危険性が出てきてしまいます。

今、この橋の老朽化が社会問題となっていることはご存知でしょうか？



■プロジェクトの背景

現在、岡山県でも橋の点検や補修の計画が策定されています。

しかし、多くの市町村においては15メートル以上の橋を対象にした計画策定となっており、何千、何万あると予測される15メートル未満の橋については調査や点検が進められていない状況です。

橋の数が多く、行政組織のメンテナンスだけでは、十分な調査・点検ができない状況です。

私たちが今後も安心して橋を利用し続けるためには、私たち市民も参加していくことが大切だと考えています。



■みなさまからの支援で実現したいこと

私たち市民がメンテナンス活動に参加しやすい環境をつくるために、まず、状況調査（橋の数、状態などの調査）を実施し、その後、地域住民や学生などと橋梁点検体験会を実施します。

また、私たちにできることを分かりやすくするために、行政と地域住民によるワークショップを行い「市民向け簡易橋梁点検マニュアル」「地域のできることチェックリスト」を作成します。

今回のプロジェクトでは、モデルエリアとして新庄村エリアにて実施します。この活動を「市民も参加して自分たちの生活環境を守っていくことができる環境」をつくる第一歩にしたいと考えています。

特定非営利活動法人 TEC.ECO 再生機構

■活動内容：環境再生事業、社会技術の普及啓発事業、省エネルギー提案事業など

■代表者：諏訪部正

■設立年月日：2007年11月25日

どうぞみなさまからのあたたかいご支援を、宜しくお願い申し上げます。

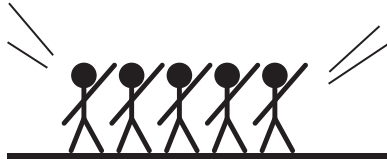
■詳しい情報・寄附について

詳しい情報・寄附は下記サイトへアクセスください。

http://mintuku.jp/shiryo_02/hashimori.pdf

低学歴の子どもたちに 職業選択の幅を広げるための学習支援事業 2.

目標額 355,000 円



認定特定非営利活動法人 子どもシェルターモモ

<http://shelter-momo.org>

岡山県は高校中退率、不登校出現率が常に全国上位にあることはご存知でしょうか？

虐待やその他さまざまな理由により家庭で暮らせない子どもたちは、児童養護施設にて生活していますが、現制度では高校を中退すると養護施設を退所となってしまいうという現状があります。子どもシェルターモモでは、こうした中学卒業、高校中退の子どもたちが就労し、自立に向けて歩いていけるよう支援活動を行っています。

■プロジェクトの背景

中学卒業という学歴の彼らには正規雇用は難しく、就職先の選択肢を広げたり、ステップアップを図ることはさらに困難を極めています。実際に、苦勞して見つけたアルバイト先で月 200 時間働き、社会保障は付くようになったとしても手取りは 12 万円がやっとというのが現状です。不規則な時間就勞で疲れが蓄積される中、働くモチベーションを維持することが難しい状況です。また、転職をしたとしても大きく状況は変わらず、子どもたちはワーキングプアから脱出することができません。

これまでも、子どもシェルターモモでは高校卒業程度認定を得ることで少しでもよい状況にしようと勉強会を持ち学習支援を行ってきました。しかし、週 1 回 2 時間という限られた時間や、適切な教材と指導支援技術が乏しい中では子ども自身が「できた！」という達成感を持ちにくく、学習を続ける意欲を持続することがとても困難でした。

■みなさまからの支援で実現したいこと

今回、子どもの学習支援に優れたノウハウを持つベネッセコーポレーションから「マナトレ」という教材を提供していただき、高校卒業程度認定試験の科目合格を目指します。高校卒業程度認定試験に合格することにより職業選択の幅が広がり、意欲を持って就勞することができるようになると考えています。また、今回の事業を通じて低学歴・無資格の子どもたちが抱える問題を社会化するきっかけにし、企業と NPO 法人が協力して子どもの自立を支えるモデル事業をつくらせていきたいと思っています。

どうぞみなさまからのあたたかいご支援を、宜しくお願い申し上げます。

■詳しい情報・寄附について

詳しい情報・寄附は下記サイトへアクセスください。

<http://motion-gallery.net/projects/gakushushien>



認定特定非営利活動法人

子どもシェルターモモ

■活動内容：子どもの健全育成を図る活動、保健・医療又は福祉の増進を図る活動など

■代表者：東 隆司

■設立年月日：2008 年 9 月 27 日

3. N家の蔵再生プロジェクト ～蔵から見える、未来の暮らし～

目標額 236,000 円

一般社団法人 倉敷未来機構

<http://www.facebook.com/kurashiki.miraikikou> (facebook)



一般社団法人 倉敷未来機構

■活動内容:地域の未来を考える「未来会議」の開催、地域活性化に関するイベント・セミナー等の事業企画・開催など

■代表者:坂ノ上博史

■設立年月日:2012年3月30日

今年9月に、全国町並みゼミ倉敷大会が開催されるほど、倉敷では積極的に町並み保存をはじめとするまちづくり活動が行われています。特に重要伝統的建造物群保存地区に選定された美観地区は、地域の団体が市と協働し、「持続可能なまちづくり活動」に取り組んでおり、平成22年度都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」を受賞しました。

■プロジェクトの背景

現在も倉敷では積極的にまちづくりに取り組んでいます。倉敷市内の空き家率は約13.5%で、7～8軒に1軒が空き家となっています。さらに、10～30代(倉敷市人口の約35%)の若者の参画が少なく、次世代の町の担い手がいない状況です。

まちづくりは継続的に実施していく必要があります。若者の参画が少ないということは、まちづくりを継続していくことが困難になることを意味しています。市外・県外へと出て行ってしまおう若者が多い中、若者に参画してもらうには、まず町のことを知ってもらい、興味をもってもらうことが大切だと考えています。

■みなさまからの支援で実現したいこと

今回私たちは、若者にまちづくりについて知ってもらい、興味をもってもらうために、若者を巻き込んで国登録の文化財に指定された「蔵の修繕」と「蔵を活用したイベント」を行います。

蔵の修繕は、N氏が以前住んでいた倉敷市東町の町家の蔵(平成8年12月20日に国登録の文化財に指定)を利活用し、宮大工さんなどと協力しながら行います。

その後、その蔵に保管してある家具や漆器等を使用し、「衣」「食」「住」「遊」「学」の5つの観点から、「明治時代を再現した食事会」等のイベントを開催します。

この修繕作業とイベントの様子を逐次映像に残し定期的に公開することで、個人や団体がまちづくりに参加できる機会を増やし、特に、「10代から30代の学生や若手社会人が主体的に参加できる、オープンなまちづくりの場をつくること」を目指します。

どうぞみなさまからのあたたかいご支援を、宜しくお願い申し上げます。

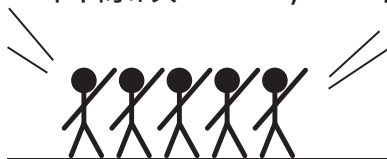
■詳しい情報・寄附について

詳しい情報・寄附は下記サイトへアクセスください。

<http://motion-gallery.net/projects/nke>

広域避難親子への 心豊かな時間のプレゼント事業 4.

目標額 371,000 円



特定非営利活動法人 岡山市子どもセンター

<http://www.kodomo-npo.jp> (web)

<http://www.facebook.com/kodomonpo.okayama> (facebook)

2011年に発生した東日本大震災の影響で、子どもを守りたい一心で岡山へ自主避難されて来ている親子が非常に多くいらっしゃいます。家族が離れ離れの母子避難、親戚もない土地への移住、公的な支援も受けられない、といった多くの不安を抱えています。

避難して来られている親子に少しでも夢や希望、そして、生きる力を持っていただきたいと思い活動しています。

■プロジェクトの背景

岡山市子どもセンターは、子どもの豊かな育ちを目指して、外遊びのプレーパーク事業、夏休みの子どもの居場所作りのフリー塾事業、生の舞台を提供する鑑賞事業等を行っています。

震災直後から岡山市子どもセンターとして、避難されて来た方々に対して、鑑賞会へのご招待を行ってきていました。しかし、このような心豊かな時間のプレゼントは岡山市子どもセンターだけで行うのではなく、地域のみなさまと協力して行っていく方が避難されているご家族にとってもより良いのではないかと考え今回の事業を行うことを決めました。

■みなさまからの支援で実現したいこと

今回は、地域のみなさまから寄附というカタチでご支援を頂き、私たちの行っている生の舞台鑑賞会に、岡山へ自主避難されて来ているご家族75世帯315名をご招待します。

地域のみなさまと協力して支援することで、地域からも暖かい支援のある場所として、避難されて来た方々にとって子育てしやすい環境をつくっていきたいと思っています。

私たちと一緒に「心が豊かになるステキな時間」を避難して来ている方々へプレゼントしませんか？そして、この岡山へ避難をしてこられている方々の心の支援をしていきましょう。

どうぞよろしくお祈りします。

■詳しい情報・寄附について

詳しい情報・寄附は下記サイトへアクセスください。

<http://motion-gallery.net/projects/hinanshien>



特定非営利活動法人

岡山市子どもセンター

■活動内容：子どもの諸活動に関する事業の企画運営及び支援、子どもの文化芸術に関する事業の企画運営及び支援など

■代表者：絹川利恵子

■設立年月日：2001年3月23日

■「割り勘で夢をかなえよう！」寄附者の声

フードバンクと避難母子支援の事業に寄附させていただきました。

テレビや新聞でみて、既に知っている取組み（課題）であり、内容が分かるからこそ、自分も関われると思い、応援させてもらいました。

特に被災地の母子や DV に関する事など自分が気になっていたことの活動が応援出来てよかったです。
(60代女性)

自分も関心があるけど、なかなか取組みできていない、子どもの分野へ寄附をしました。

事業結果も届くということで、自分のこの事業を支えるという実感があり楽しみにしています。
(30代男性)

■事業実施者の声

「割り勘で夢をかなえよう！」での資金集めは、お一人お一人の顔と想いがより近く感じる事が出来るので、普通の助成金とは全く違う感じがします。

嬉しい気持ちと共に、こんなに多くの方に応援頂いているということが分かり、もの凄く気が引き締まります。多くの人に納得頂ける結果に繋がられるように、精一杯頑張ろうと思います。

本当にありがとうございました。

(第1期提案団体)

■寄附の方法

寄附の手段は、下記3つの方法になります。

- 現金 (説明会やみんつく財団事務所で受付しております。)
 - 郵便振替 事務局及び申請団体へ連絡いただき、振替用紙を受け取っていただくか、下記の情報をご記入ください。
 - 【口座番号】 01320-6-109961
 - 【加入者名】 一般財団法人みんなでつくる財団おかやま
 - 【通信欄】 「メールアドレス」および「応援する事業名と金額」が分かるようにご記入ください。
例) atsushi@mintuku.jp
- | | | | |
|------|-----|--------|-----|
| 橋守 | 3千円 | 蔵再生 | 3千円 |
| 学習支援 | 3千円 | 避難親子支援 | 2千円 |

- クレジット決済 モーションギャラリーサイト内から行っていただけます。

(<http://motion-gallery.net/mintuku>)

*橋守サポーター養成モデル事業は、クレジット決済は行えません。

■寄附後の流れ

- 1) .ご寄附いただきましたら、入金確認後、電子メールにてお礼と受付確認の連絡をさせていただきます。
*モーションギャラリーご利用の場合、サイト内のメールで配信し、併せて住所等の情報の登録案内をさせていただきます。
- 2) 募集期間(6月30日)終了後、助成金額が確定したのち、(1か月程度見込み)領収書(未発行の場合、クレジットの場合は発行されません。)及び助成結果通知を送らせていただきます。
- 3) 助成時に、各団体へ寄附者名簿をお渡しし、事業実施後、事業報告が各団体より行われます。
みんつく HP でも事業結果を報告いたします。

Q&A 事業指定寄附に関するQ & A

1. 事業指定寄附とは？

事業実現を応援するための資金提供になります。融資や投資ではありませんので、金銭的な見返りはありませんが、応援する事業によっては、事業成果物などを提供させていただきます。
また、事業の所有権は提案者にあります。資金提案者は事業実施の応援者となります。

2. 領収書の発行はどうなりますか？

現金及び郵便振替でご寄附いただいた場合は、現金受取時もしくは受付期間終了後に当法人より領収書を発行させていただきます。motion gallery（モーショングャラリー）のサイトより手続きいただいた場合は、原則として領収書の発行は致しませんので、振込記録やクレジット決済の記録を保管ください。

（必要な場合は、事務局までご相談ください。）

また、本事業への寄附は税額控除対象とはなりません。

3. 目標金額に達さなかった場合はどうなりますか？

集まった金額で助成（資金提供）を行います。（当法人の運営経費5%+システム利用料を差し引いた額）提案事業の目的に沿ったものを、事業規模の縮小もしくは他の資金を充当することにより実施できるものを選定しております。詳しくはHPをご覧ください。

4. 逆に、期間内に目標金額を超えたらどうなりますか？

目標額を超えて集まった金額も含め、助成し、提案事業の発展に活用させていただきます。
詳しくはHPをご覧ください。

5. 目標金額はどのようにして決まっていますか？

事業提案者の申請額に、当法人の運営手数料（助成額の5%+システム利用時はシステム利用料）を加えたものになっています。



第1期事業指定助成プログラム 助成証明書授与式



みんつくカフェ

「みんなで作る財団おかやま」について。

誰もが社会を変えることに参加でき、
誰もが希望を形にでき、
誰もが未来を考えられる仕組み。

「一般財団法人みんなで作る財団おかやま」は、岡山県内の約 100 名の若者による“呼びかけ人”が中心となり、広く市民に基本財産の寄附を呼び掛け、530 名より集まった 4,133,000 円を基本財産として設立しました。

地域の社会課題解決をじぶんたちの手で実現するための「あたらしいインフラ」として、この岡山の地に根付くものになるよう、取り組みを展開していきます。

キーワードは「つなぐ、つたえる、シェアをする」

既に、地域で取り組みをしている人、したい人はたくさんいます。
その人たちの勇気（活動）をみんなで応援し、未来の希望に変えていきたい。

そのために、地域の持っているポテンシャル（人・モノ・お金・情報などの資源）をつなぎ、つたえ、シェアしていくことが重要だと考えています。
関わりやすい環境をつくり、参加者を増やし、みんなが地域の当事者になり、社会を変えていく。社会を変えるということ。それは自分の環境を自分の望む形にデザインすること。

「つなぐ、つたえる、シェアをする」を実践し、地域のあらゆる主体が公益を担い合う社会。当事者の意識と存在を大切に、安心して持続可能な地域社会の実現を目指して、活動していきます。

■お問い合わせ

一般財団法人みんなで作る財団おかやま
担当：石田、牧

〒700-0822 岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル3階
TEL 086-206-2195 FAX 086-206-2196
E-mail info@mintuku.jp URL <http://mintuku.jp/>
(受付時間：祝日を除く月曜日～金曜日 9:00～17:00)

